

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

平成29年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/12 大般若会併修大施食会法要
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 本堂撥遣法要会及檀家総会
大施食会併蚕影山例祭法要
- 5/12~5/16 現代名僧墨蹟展
- 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経
※7/31~8/1(一泊二日)
第36回子供禪の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 孟蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 11/1~11/5 梅花授戒会
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・華道教室
- ※宗務所執務日 毎週月・水・金曜日
- ※は、御本寺仁叟寺にて開催

本堂再建工事愈々開始



十年以上の星霜を重ね、慎重審議をいたして参りました龍源寺本堂の再建工事が、愈々開始となります。本年4月29日の大施食会、蚕影山例祭、檀信徒総会の

↑ 本年5月より工事が始まる当山本堂

席に合わせ、本堂

撥遣(抜魂)供養法要を、本寺仁叟寺住職導師のもと修行させていただきます。会議はもとより研修旅行も何度も開催し、また建設委員会も一昨年に発足。檀信徒の皆様はじめ、多くの関係各位のご理解ご協力を以て、漸く工事開始となります。工事中は、何かとご不便をお掛けいたしますが、引き続き宜しくお願い申し上げます。

本堂引越作業のご協力をお願い

日程	作業内容	対象	備考
5月2日	引越作業	山内及び榑放光	仏像仏具貴重品
5月4日	引越作業	松田・多比良地区	おてんま
5月5日	引越作業	多胡地区	おてんま
5月6日	引越作業	矢田地区	おてんま
5月7日	引越作業	予備日	降雨などの場合
5月8日	解体作業	丸山建設(株)	本堂解体作業開始(予定)

上記表が、当山本堂再建に向けた引越作業等の日程となります。各地区には役員さんよりご案内いたしました通り、地区毎に分かれてのおてんま作業となります。4~7日のおてんま開始時刻は、午後1時30分からとなります。宜しくお願いいたします。合掌

自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～

本年は、東日本大震災より丸六年。七回忌に当たる年です。

今なお復興に向け、頑張っております被災地の福島県に於きまして、曹洞宗福島県青年会が中心となり、七回忌法要と復興祈願法要を去る3月15日、福島県郡山市民文化センターにてつとめられました。住職も被災地支援活動よりの群馬県青年会等のご縁ご案内を頂戴し、法要と式典に随喜して参りました。



↑ 会場満員、七回忌法要の様子
↓ 三遊亭圓楽師匠を囲んで



↑ 法要及び式典のポスター

「福島に笑顔を 明日へ向かって」というスローガンの下修行され、式典には人気テレビ番組の笑点でお馴染みの三遊亭圓楽師匠の落語、母心の漫才が催され、被災地に笑いを届けておりました。会場はホール一杯となる満員御礼で賑わいました。

なお、三遊亭圓楽師匠は、曹洞宗の僧侶として前橋市釋迦尊寺にて出家得度され、また前住職である渡辺啓司仁叟寺住職が仲人もつとめましたご縁もございます。

養蚕の歴史を今に伝える ～龍源寺蚕影山様～

龍源寺の蚕影山様は、平成15年迄、春彼岸会中の3月23日が例祭日であり、当山山中に所在した別当にて法要がつとめられておりました。以前養蚕業が盛んであった頃は、露天商も出て賑やかであったと伺っております。本尊ほか宮殿は本堂内に移動し、現在の例祭日は4月29日の大施食会と共に修行されております。平成26年に、富岡市の富岡製糸場を始め藤岡市の高山社跡、下仁田町の荒船風穴、伊勢崎市の田島弥平旧宅が世界遺産に登録され、養蚕と共に歩んできた当地の歴史に、熱い視線が注がれております。

当山の蚕影山様もその一つで、藤岡市の高山社顕彰会の会員の皆様による調査が幾度となく行われ、平成18年に建立された蚕影山縁起碑と共に冊子ほか紹介されました。また、一昨年には同会より協力団体の一つとして当山が表彰されました。

去る4月18日、富岡製糸場世界遺産伝道師協会の皆様20名が、今に遺る養蚕の足跡を辿る研修のため、当山及び仁叟寺に見えられました。多くの方々が、当山蚕影山様に関心を持ち、参拝をされております。養蚕の歴史を今に伝え、また当山の象徴でもある蚕影山様、後世にしっかりと遺すべき遺産であると考えております。



現代名僧墨蹟展のご案内

住職が昨年まで会長をつとめておりました群馬県曹洞宗青年会は、本年創立55周年を迎えます。記念事業として、5月12日～16日に、高崎市シティギャラリーに於いて、「現代名僧墨蹟展」を開催する運びとなりました。

曹洞宗は勿論、宗派を超えた名僧の墨蹟が高崎に集い、また中国及びスリランカの名僧にもご協力を賜りました。ほか、群馬県書道協会、高崎市書道会、草月流竹内社中、高崎経済大学茶道部等々、書道・華道・茶道という日本文化を代表する地元有志の皆様による後援もいただきました。

同展はチャリティでもあり、収益は東日本大震災及び熊本地震の被災地教育関連への支援金として活用させていただく予定です。是非、足をお運びいただき、現代名僧の墨蹟に触れ、心安らぐ時間をお過ごし下さい。

また、墨蹟展のほか11月には梅花授戒会が、曹洞宗群馬県宗務所主催で梅花部60周年、青年会55周年を記念し修行されます。奮ってのご参加をお願い申し上げます。

群馬県曹洞宗青年会 創立55周年記念

現代名僧墨蹟展

高崎シティギャラリー 拝観無料

〒370-0829 群馬県高崎市高松町 35-1

平成 29年 5月12日(金)～16日(火)
午前10時～午後5時

群馬県曹洞宗青年会の創立55周年記念事業として、現代の名僧の方々の墨蹟展を開催致します。墨蹟を通じて私の「みおしえ」に触れていただき、皆さまの心をより豊かにして頂ければ幸いです。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。



金剛轉寺 龍主 中西 啓賢 大僧正



大本山總持寺 寶賢 江川 聖聖下



大本山永平寺 寶賢 福山 法聖下



京都清水寺 聖年 藤澤 龍聖下



熊本 大徳寺 佐藤 敬道 老師

お問合せ 墨蹟展事務局 TEL 080-9380-8326 (事務局直通)

<主催>群馬県曹洞宗青年会 <協賛>曹洞宗群馬県宗務所
 <後援>大本山永平寺、大本山總持寺、群馬県仏教連合会、仏教伝道協会、湖上墨蹟研究会、国際禅文化交流協会、群馬県書道協会、高崎書道会、草月流汀美会竹内社中、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、ラジオ高崎、高崎経済大学茶道部

仁叟寺通信 ～社会福祉協議会だより～

ご存知ですか 吉井地域の指定避難所

じん そう じ
「仁叟寺」 連絡先 渡辺啓司 (仁叟寺住職)
 ☎027-387-3080



● 避難所となった経緯を教えてください。

副住職が東日本大震災の復興支援をしている時に、寺院や神社に避難している被災者が多いことを知り、仁叟寺も地区の皆さんのためにもっと活用できないかと考えたことがきっかけでした。

高崎市も初めての事例でしたが、地区の皆さんが協力して署名を集めて提出したことで、公的機関以外の施設では、市だけではなく県としても初めての指定避難所として認められました。

● 避難所としての特長について教えてください。

仁叟寺は地区の皆さんによく知られていて、広いスペースがあるので避難所に適しています。避難所となったことで、停電に備えた自家発電機や、手回し発電機付きの自動販売機、簡易トイレなど、様々な設備や物資のご寄付をいただきました。

地区の方が集まって、消火訓練やAEDの講習も行いました。次は備蓄品の入れ替えに合わせて炊き出し訓練を予定しています。

「今後も、より多くの人を救える体制づくりのため、地域の防災の拠点として避難所のネットワークを広げていきたいと考えています」と渡辺さんはおっしゃっていました。



◀停電してもすぐに移動します。(自家発電機)



市の補助や地区の方の寄付が集まりました。(災害用品)



消火器の使い方を練習しました。

三才 高崎市は、災害時に市民の避難状況を的確に把握し、救援物資を配送する目的で、町内会や自主防災組織が設ける避難所を事前登録する「届出避難所登録制度」の導入を発表しました。

今年2月1日付けの「高崎市吉井地区社会福祉協議会だより」第15号に、仁叟寺が行っております高崎市指定避難所としての取り組みが記事になり、紹介されました。

同だよりは、市社会福祉協議会吉井支所により吉井地区全戸に配布されました。万一災害が発生した際には、迅速かつ丁寧に対処出来るよう、行政と綿密に連携し、引き続き地域と共に取り組んで参りたいと考えております。

本年は、阪神淡路大震災23回忌、東日本大震災7回忌の節目の年でもあります。ご冥福をお祈りいたしますと共に、是非、ご家庭に於いても、改めて防災備災について話し合いをされますよう、お願いいたします。

平成28年度寄進者一覧（順不同、敬称略）

番号	地域	ご芳名	寄進品物
1	松田	出牛 裕一	総代会賛助金
2	松田	白田 幹男	新米一俵
3	多胡	田中 道教	米90キロ
4	東京	窪田 広	大施食会曇影山例祭供米料
5	松田	渡辺 和孝	梅林・杉林伐採奉仕作業
6	-	新盆檀信徒一同	庫裏及び会館補修工事

平成29年度龍源寺総代人世話人一覧（敬称略）

総代長	松 田	出牛裕一	役 員	多 胡	※田中又三
総代人	松 田	白田 博	全	松 田	※渡辺ひで子
全	矢 田	木村照夫	全	松 田	※白田幹男
顧 問	矢 田	小林 茂	全	矢 田	※金井邦夫
役 員	多比良	田端米治	全	矢 田	木村幸男
全	多 胡	※篠崎悦一			

上記の表が、平成29年度龍源寺総代人世話人の方々です。また、※印の方が新任となります。本年度も、宜しく願いいたします。合掌

坐禅会、梅花講、華道教室 参加者募集中

定例の坐禅会は、毎週水曜日夜7時から住職が、梅花講は毎月隔週水曜日午後、華道教室は随時に、本寺仁叟寺様に於いて行っております。また、本年で第36回目となる「仁叟寺龍源寺子供禅の集い」も、恒例の夏休み中、7月31日～8月1日に掛けて予定をしております。興味関心のある方は、お気軽に当山までお問い合わせ下さい。

行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

龍源寺報「山雲水月」も今号で節目の50号となりました。定例の坐禅会と同じく、平成14年に住職を拝命いたしましてから続いており、本年度で16年目を迎えます。

その間、当山でも様々な事がありました。特に現在鋭意進めております本堂再建事業に於きましては、檀信徒はじめ多くの関係

各位のご尽力により、愈々工事の開始となる処まで参りました。引き続きのご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。合掌（龍）

→龍源寺の桜

